

ある町の 天気相談所

Vol.100 2026.04.03

令和8年4月号



ソメイヨシノの開花

2026年のソメイヨシノは、
かみね公園

開花 3月25日 満開 4月3日

平和通り

開花 3月25日

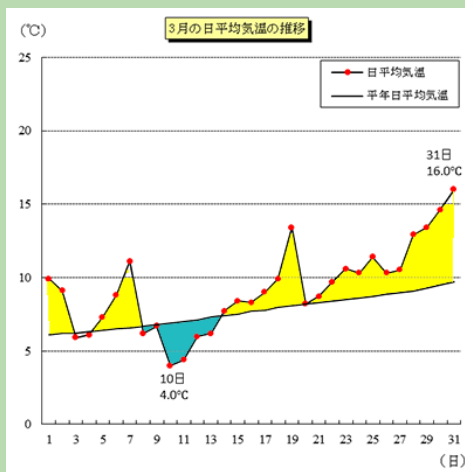
開花は昨年より2日早い

かみね公園の満開は、昨年より4日早い



3月の気候

3月は、はじめ高気圧に覆われますが、南の海上を前線や低気圧が進むことと、北から高気圧に覆われることが多くなりました。気温は中旬が平均気温であったほか、高くなり、月平均気温は9.2度と平均より高くなりました。雨の降る日は多くなりましたが、降水量は58ミリと平均の57パーセント。日照時間は176.1時間と平均の96パーセントと、ともに少なくなりました。10日には雪やみぞれも降りました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

天気は数日の周期で変わり、低気圧や前線の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ない予想です。平均気温は「高い」、降水量は「多い」、日照時間は、「少ない」となる見込みです。

ある町の天気相談所

今号で100号を迎えました。2018年(平成30年)1月に第1号を発行し、毎月1号ずつ発行していたため、8年と3か月かかりました。発行の目的としては、天気相談所を知ってもらおう。日立市の気象の特徴を知ってもらおう。発生した気象現象を知ってもらい、記録とする。

ということでした。現在も同じ目的としていますが、最初の頃は、天気相談所の紹介、歴史などを中心、後半になってからは、気象の特徴や現象の説明などが多くなってきました。

振り返ってみると、さくらの記事が一番多く、開花、満開、開花予想の仕方や精度、開花時期の移り変わりなど、様々な視点から記事にしてみました。気象の解説としては、2023年の線状降水帯をはじめ、台風や大雨、竜巻、雪などを観測結果とともに記載し、雨が少ない状況や多い状況、気温が高い状況などの気候の解説や、熱中症の予防などについての記事もありました。はじめは、職員で分担して作ろうと考えていましたが、結局は、一人で作ってしまいました。いつまで続けるかは特に決めずにはじめてしまったため、この先いつまで続くのはわかりません。

天気用語の基礎知識

5月からの警報(大雨) 3

発表に関する基準について「レベル3大雨警報」は浸水に関する警報であるため、表面雨量指数や流域雨量指数が用いられ、「レベル3土砂災害警報」は、土砂災害に関する警報であるため、60分間雨量と土壌雨量指数が用いられる。市内のどこかで基準を超えたり、超えることが予想される際に、市町村単位で発表される。警戒すべき具体的な地点については、気象庁ホームページの「土砂キキクル」や「浸水キキクル」「洪水キキクル」新設される「大雨に関するキキクル」で知ることができる。

・・・神峰の山から・・・

100号を機に、この欄についても振り返ってみると、筆者の個人的にことが載っているこの欄で、多く載っていた言葉が「お腹が痛くなる」でした。ちよつと大変なことがあると、すぐにお腹にきてしまうためよく書いてしまっていました。今の時期は、毎朝さくらをみて出勤していますが、何故かお腹がいたくなるのが頻発します。さくらをみていくと、トイレまで時間がかかりますが、さくらをみないと困ったことになりお腹に影響をあたえます。そんな悩みもお腹に影響をあたえています。

そのため、トイレの位置はよく把握しています。